

磐城時報

編輯人 岡田弘成
印刷所 磐城時報印刷所
發行所 磐城時報發行所
電話 一四四
廣告料 一行十四字 一月五拾錢
A 日刊 (日曜、祭日) 休刊

四倉築港問題の 遂に妥協不成立

新妻四倉町長萬策盡きて 改めて縣の指揮を仰ぐ

聯合唱歌會

昨日限りで縣に確答する事を約しておいた四倉築港問題に關する魚市場設置妥協案に關し四倉町では十日午前十時から急務入連野、入山、江名、湯本、小町會を開き、漁業組合でも同日午前八時から役員會を開き對策を協議する處あり、一方漁港修築内郡第一、二、三、神谷、草野、同協會でも危急存亡の秋であらうとして會長長谷川寅次郎氏以下幹部が奮起し妥協に奔走をしたが、双方の態度頗る強硬で町會では魚市場の歩合百分の一を百分の一を百分の二とする事を主張し漁業組合では縣の指示通り石城郡小名濱町字定西小名濱浦り百分の一を固守して譲らざるを要する見解を堅持し、防組組長瀬田氏は明治三十一年に出願しこの旨を告げて再より平署では表彰方を其筋に申ひ縣の指揮を仰ぐ事になった。

長瀬副組頭 表彰方申請

石城郡江名町南町若松二十九家は有難いものと見られてゐる石城郡收賄高は縣下第六位で養蠶戸數七十戸、收賄二十三萬圓、桑園反割千八百町歩に達してゐる而も縣下に於ける桑園一反歩よりの平均收賄額は九萬圓であるのに石城郡は一反歩から十六萬圓を收賄してゐるから有難な養蠶地である石城郡に蠶業取締所支所のない事は産業上不利極まるものである。

赤井村會の紛擾を 民政幹部が調停

十八日までには妥協か

石城郡赤井村戸數割賦課決定村で目下議案調査中であるが若松會は既報の如く村長後任問題に草野兩氏が石城民政支部顧問でからんで若松前縣議の住所問題あるだけ内紛が表面化した状態に及んで未會有の混亂を演じ引であるからこれが協調は頗る困難な村會休會中で若松氏同様の難であるも同志幹部が調停に入つた、陳情の内容は大體左の如く立場にあるもの七、八名あるのり斡旋をなしてゐるから十八日縣でも事情を諒解したから設置

平町の人口二万七千七百七十八人 前年より二百五十名増加 男より女が多い

男より女が多い

協會設立

平町役場では十月一日現在に平町の人口世帯數を調査中であつたが十日終了した、その結果によると平町の世帯數は四千七百三十一、前年より六世帯の減少であるが人口は二萬七千七百七十八人で前年より二百五十名の増加である、男は女より少く男一萬三千七百九十四名、女一萬三千九百八十四名で女百人に對し男九十八人八分の割合である、尙ほ一世帯の平均人口は五人八分六厘となつてゐるわけである。

名譽の戦死を遂げた 中田君は町葬

石城郡江名町南町若松二十九家は有難いものと見られてゐる石城郡收賄高は縣下第六位で養蠶戸數七十戸、收賄二十三萬圓、桑園反割千八百町歩に達してゐる而も縣下に於ける桑園一反歩よりの平均收賄額は九萬圓であるのに石城郡は一反歩から十六萬圓を收賄してゐるから有難な養蠶地である石城郡に蠶業取締所支所のない事は産業上不利極まるものである。

設置運動 酒井氏出縣

石城郡蠶業組合長酒井翁次氏は十日出縣し石城郡に蠶業取締所支所設置方を陳情して歸平し陳情の内容は大體左の如く強要したか精神病者と見て取合平署に届け出でた平署から係宣

偽刑事に 十五圓を詐取された 使ひ込みの申譯けらしい

使ひ込みの申譯けらしい

自動車の検査成績

福島市宇柳町渡邊自動車修繕工出張取押えたが同人は植田町瀬谷長藏(四六)と云ふ監獄精神病者が逃げて来たものと判明紹介中である。

修築の陳情

石城郡豊間漁港修築問題はかねて二十三萬圓の繼續工事として昭和六年度は地元豊間村の獨力負擔で豫算三萬六千圓を以て着工する運びになつてゐるが縣の補助が計上されぬらしい形勢にあるので先般來豊間村及び漁業組合では縣當局に陳情中であつたが緊縮の折柄不利な情勢なので九日午後五時五分發平野留藏(四六)は去る六月下旬四倉町字遠藤消防組頭等上京をなした。

川崎知事の紋を書けと 狂人紋屋で亂暴

十一月午後七時頃平町五丁目五はなかつた處の男は店頭の火鉢の中から火箸を取り出し家人が來り川崎知事の紋を書けと投げつけ亂暴を働らくこの聲は波瀾科醫院内で無療診察を行つた事判明十日四倉署に告訴された。

鐵工の喧嘩 告訴沙汰

告訴沙汰

左傾思想

石城郡四倉町本町木村醫院では千三百圓を投じて太陽燈を購入し料金を半額にして治療の需めに應じてゐるが地方民の福音といふべきである。

學校衛生研究

石城郡教育會學校衛生研究會は二十六日第二校、二十七日大浦校で何れも午前九時から開會、

酌婦を種に 詐欺を働らく

水戸市外常盤村大字松本三三二七番地無職前科五犯平野留藏(四六)は去る六月下旬四倉町字仲町一六〇番地飲食店竹の家方抱酌婦木村イチを他に周旋すると稱して連れ出し前借二百四十圓を踏倒したまゝ宮城縣氣仙沼町料理店二見亭に前借六十で酌婦に住込みし女の前借金は横領した事判明十日四倉署に告訴された。

四倉醫師會 無料診療

無料診療

學校衛生研究

石城郡教育會學校衛生研究會は二十六日第二校、二十七日大浦校で何れも午前九時から開會、

酌婦を種に 詐欺を働らく

水戸市外常盤村大字松本三三二七番地無職前科五犯平野留藏(四六)は去る六月下旬四倉町字仲町一六〇番地飲食店竹の家方抱酌婦木村イチを他に周旋すると稱して連れ出し前借二百四十圓を踏倒したまゝ宮城縣氣仙沼町料理店二見亭に前借六十で酌婦に住込みし女の前借金は横領した事判明十日四倉署に告訴された。

